

2014年6月期第2四半期決算説明会資料

2014年2月19日

株式会社エンビプロ・ホールディングス



目次

1. 会社概要・事業内容
2. 第2四半期決算概要
3. 14/6期通期見通し
4. 成長戦略

1.会社概要・事業内容

会社概要

平成25年12月31日現在

社名	株式会社エンビプロ・ホールディングス
本社	静岡県富士宮市山宮3507番地の19
代表者	代表取締役社長　佐野富和
設立	2010年5月
資本金	7億314万6250円
グループ会社	連結子会社8社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従業員数	単体23名（連結391名） ※契約社員、派遣従業員等を含む

子会社	㈱エコネコル	総合資源リサイクル及びリサイクル資源の輸出販売事業等。リサイクル困難な複合材の複合選別リサイクルに強み。富士宮、清水、浜松に生産拠点を展開。全国ヤード展開による物流の拡大で仕入れ、販売が拡大。
	㈱３WM	中古車・中古車部品等の輸出及び三国間貿易、物流代行事業。UAE、チリ、ウガンダに現地法人を展開。
	㈱クロダリサイクル	金属プラスチック等のリサイクル及び家電リサイクル事業。北海道に密着した事業を営み、創業90年。2008年6月に買収。（事業継承型M&A）
	㈱しんえこ	金属プラスチック等のリサイクル及び自動車リサイクル事業。長野県唯一の大型シュレッダー（破砕機）を保有。2011年4月に買収。（事業再生型M&A）
	㈱エコミット	障害福祉事業。資源リサイクル事業との組合せによる障害者支援、雇用創出を目指し2013年12月に新設。
持分法	㈱アビヅ	金属プラスチック等のリサイクル及び自動車リサイクル事業。中古車オークション最大手㈱ユー・エス・エス（東証一部）との合弁。
	㈱富士エコサイクル	家電リサイクル事業。㈱富士通ゼネラル（東証一部）及び家電メーカー4社との合弁。

企業理念

創業企業

つねに社会にとって必要な事業を創造しつづける
- 日々創業・・・初心を大切に日々創業精神で仕事をする
- 歴代創業・・・代々初代の志を持って新事業を創造する
- 全員創業・・・全社員が自分に合う第一人者の道を拓く

循環企業

助け合い、活かし合い、分かち合う喜びの環を回しつづける
- 快労・・・助け合い、補い合って気持ちよく働く
- 活財・・・あらゆるもののいのちを活かして使い回す
- 還元・・・利益や喜びを共に生きる人たちと分かち合う

求道企業

永遠につづく企業の道、人の道を追求しつづける
- 選難の道・・・安易な道を選ばず求められる道を歩む
- 独自の道・・・特質を生かし人のやらないことをやる
- 感謝の道・・・生かされていることに感謝し慢心をしない

グループ沿革

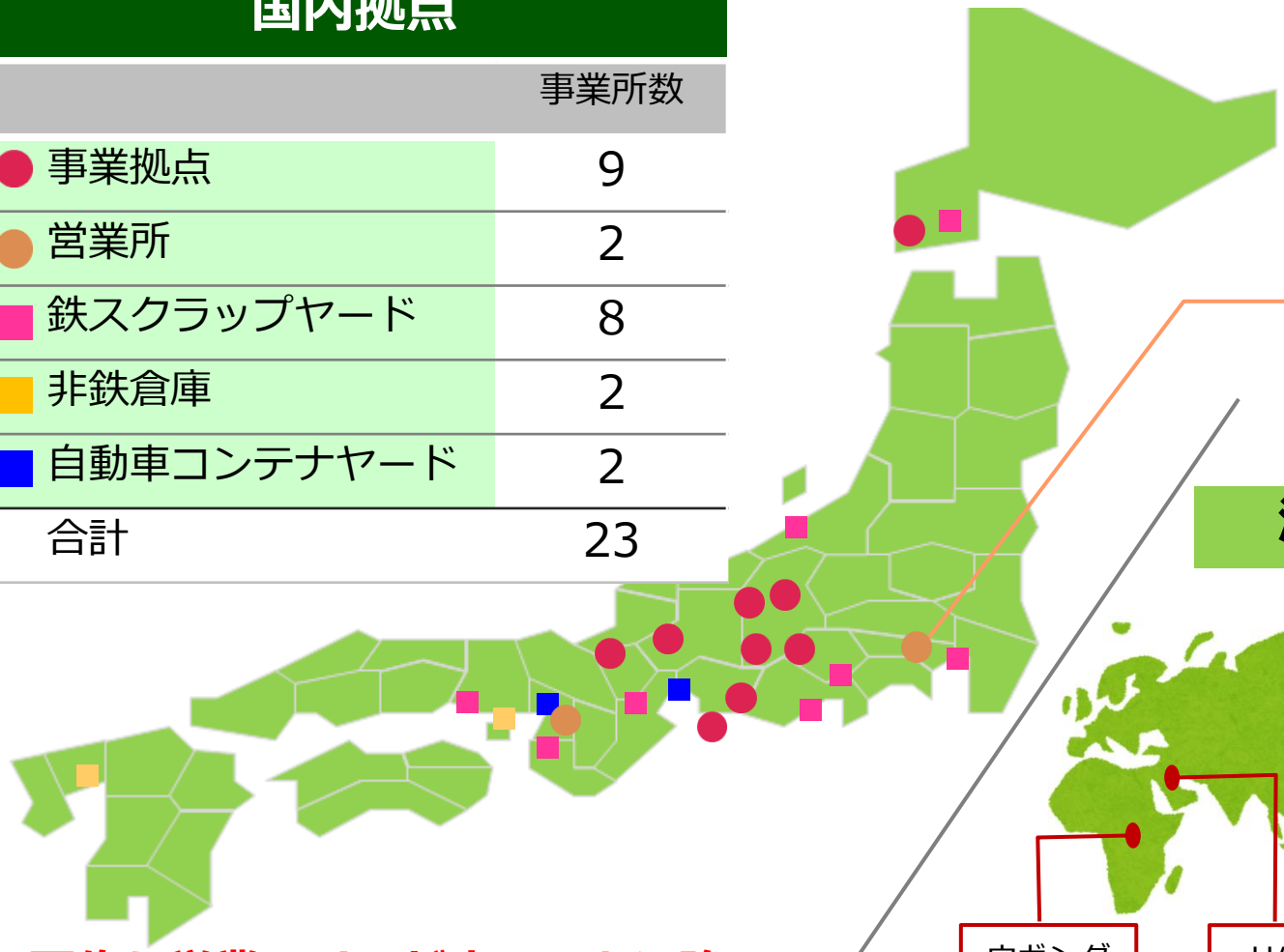
2013年　㈱エコミット設立
2013年　東京営業所開設
2013年　東京証券取引所第二部に上場
2012年　ウガンダに㈱３WMの現地法人を設立
2012年　清水港ヤード設置
2011年　㈱しんえこ　M&A
2010年　当社設立（持株会社）
2008年　㈱クロダリサイクル　M&A
2008年　UAEとチリに㈱３WMの現地法人を設立
2006年　名古屋支店開設　（ 翌年に㈱３WM設立 ）
2004年　ASR再資源化大臣認定
2003年　㈱アビヅ設立
2004年　複合選別設備（重液選別）を導入
2001年　㈱富士エコサイクル設立
2001年　プラスチックリサイクル事業開始
2000年　鉄スクラップヤード設置（上越市）
1995年　鉄スクラップヤード設置（富士市）
1998年　自動車リサイクル事業開始
1992年　貿易事業開始
1992年 シュレッダー設備導入
1950年　創業

選別技術に強み
- 乾燥比重選別
- 渦電流選別
- カラー（色）選別
- エックス線選別
- 磁力選別
- 特殊破砕選別

事業拠点とヤード展開

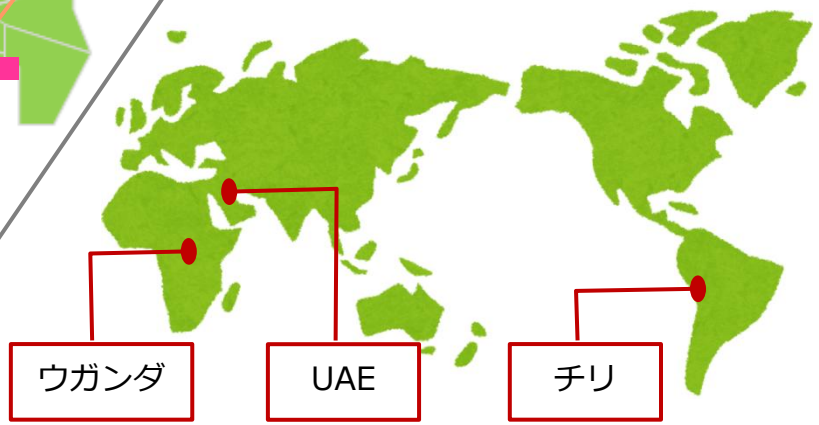
国内拠点

	事業所数
事業拠点	9
営業所	2
鉄スクラップヤード	8
非鉄倉庫	2
自動車コンテナヤード	2
合計	23



2013年11月
東京営業所開設

海外拠点（3拠点）

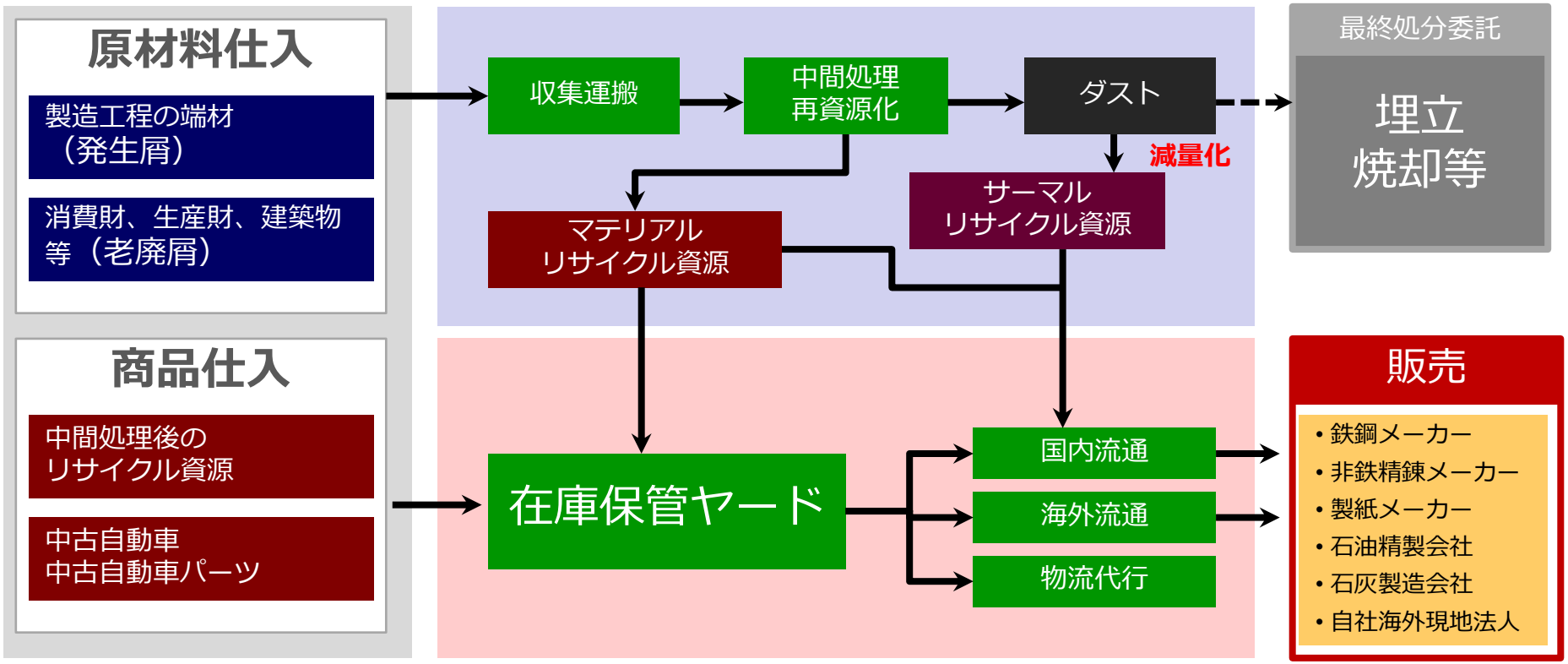


面的な営業エリアが広いことに強み

資源リサイクルビジネスの概要

如何に「安定的」かつ「大量」に仕入れるかが重要

仕入、加工、流通、販売がビジネス領域
ワンストップサービスが他社との差別化となっている。



中間処理

複合材原料からの選別製品（例）

ENVIPRO

使用済自動車



廃複写機



小型家電
（自治体との取組）



破砕

製鋼原料



シュレッダーダスト



多くの同業者は、
この時点で捨ててしまう。

選別加工

銅



アルミ



ステンレス



燃料ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ／　RPF



基盤類（金・銀）

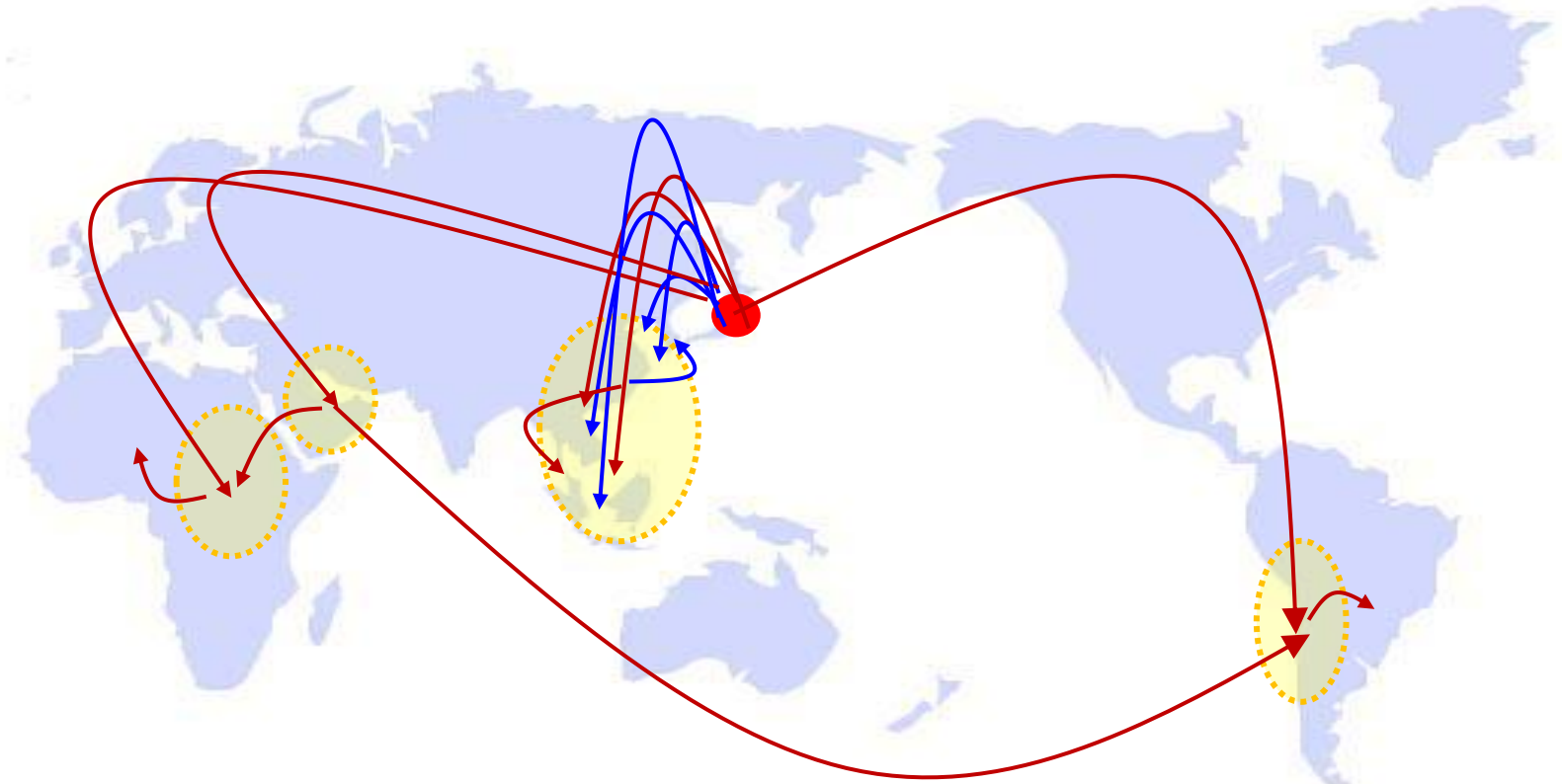


業界随一のプラント数と高度選別加工技術

（大型シュレッダー4基、中小型シュレッダー35基保有）

販売

海外販売力

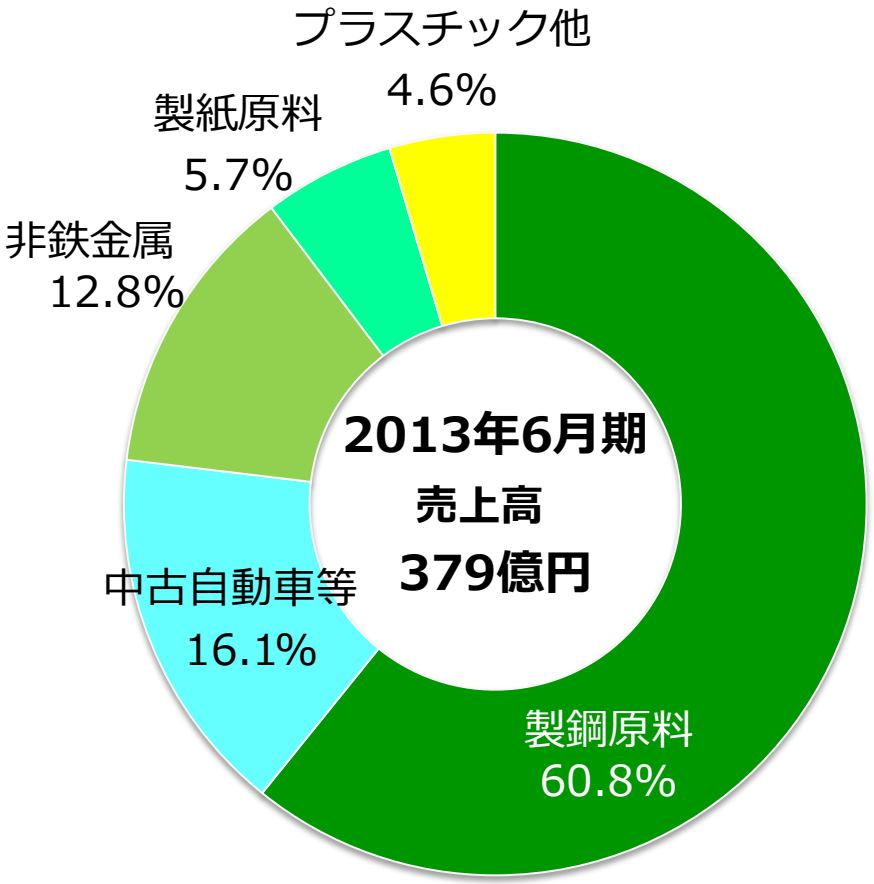


販売品目	販売国
製鋼原料	韓国、中国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシア等
非鉄金属	中国、韓国等
製紙原料	中国、韓国、インドネシア、タイ等
中古自動車等	チリ、ウガンダ、ＵＡＥ、マレーシア、タイ、ロシア等

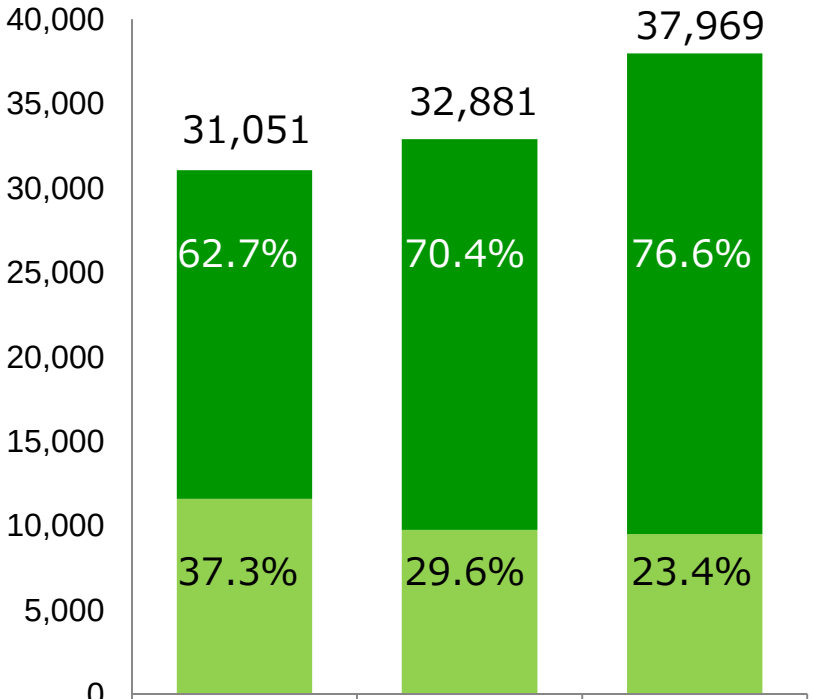
上期は12カ国への販売実績あり。
ウガンダ子会社による営業活動を強化中。

品種別売上構成、国内／海外売上高

品種別売上構成



国内／海外 売上高・売上高比率



(百万円)	11/6	12/6	13/6
海外売上高	19,477	23,154	28,491
国内売上高	11,574	9,727	9,479

2.第２四半期決算概要

損益計算書の概要（連結）

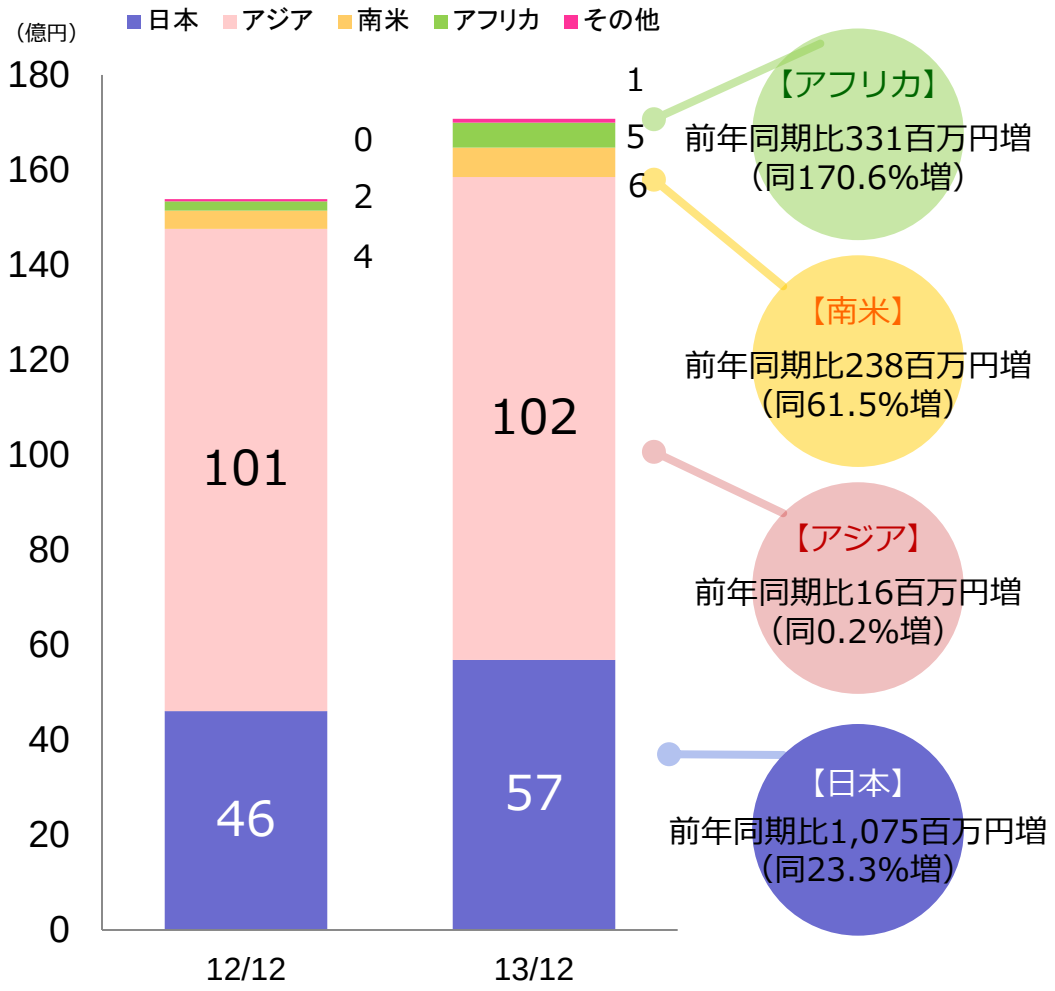
	2013年6月期（上期）		2014年6月期（上期）				
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	前年同期比 増減額（百万円）	前年同期比 増減率（%）	主な増減要因
売上高	15,385	100%	17,071	100%	1,685	11%	【売上高】 鉄スクラップ相場（東京製鐵岡山海上特級価格　期首31,000円/ｔから期末38,500円/ｔへ）堅調に推移 【限界利益】 固形燃料の製造強化、大型解体物件の受注、集荷営業強化による 【経常利益】 固定費前年同期比228百万円増を限界利益の確保及び持分法による投資利益の増加により増益
売上総利益	2,490	16%	2,855	17%	364	15%	
営業利益	140	1%	326	2%	185	133%	
経常利益	73	0%	418	2%	344	467%	
税金等調整前四半期純利益	348	2%	450	3%	102	29%	
四半期純利益	263	2%	271	2%	7	3%	
償却前利益	531	3%	715	4%	183	35%	
限界利益 ※売上－変動費	1,960	13%	2,450	14%	490	25%	
純粋固定費	1,908	12%	2,137	13%	228	12%	

貸借対照表の概要（連結）

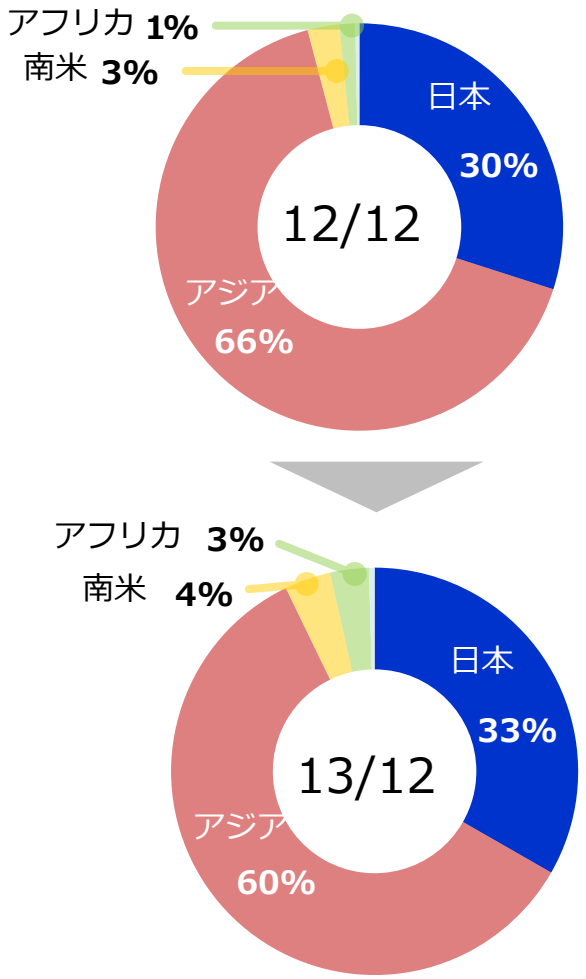
	2013年6月期（期末）		2014年6月期（上期）			
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	主な増減要因
流動資産	5,496	46%	6,647	51%	1,150	現金及び預金＋722、受取手形及び売掛金▲88、商品及び製品＋586
固定資産	6,505	54%	6,349	49%	▲156	投資有価証券＋101、建設仮勘定▲144、のれん▲32、繰延税金資産▲38
資産合計	12,001	100%	12,996	100%	994	
流動負債	4,194	35%	4,093	32%	▲100	支払手形及び買掛金▲44、短期借入金＋140、１年内返済予定の長期借入金▲38、未払法人税等▲83
固定負債	2,292	19%	1,928	15%	▲363	長期借入金▲357
負債合計	6,486	54%	6,022	46%	▲464	
純資産合計	5,515	46%	6,973	54%	1,458	資本金＋603、資本剰余金＋603、四半期純利益＋271、配当金の支払▲46
負債・純資産合計	12,001	100%	12,996	100%	994	

地域別売上高・売上構成

地域別売上高

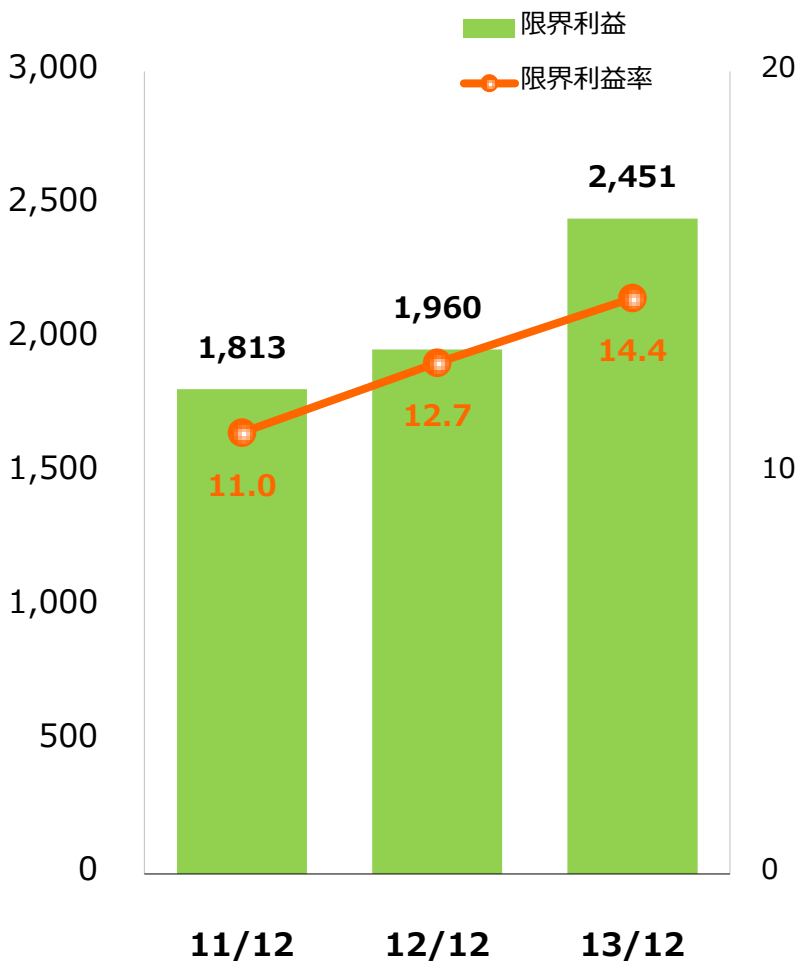


売上構成

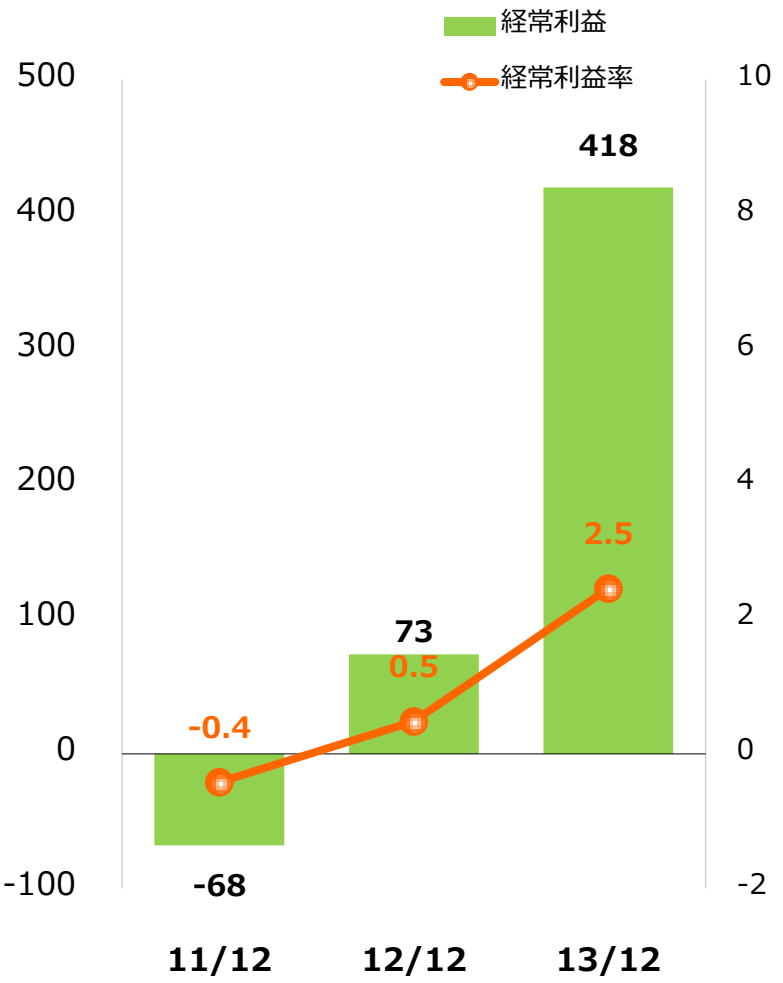


限界利益・経常利益

限界利益　※限界利益＝売上－変動費



経常利益



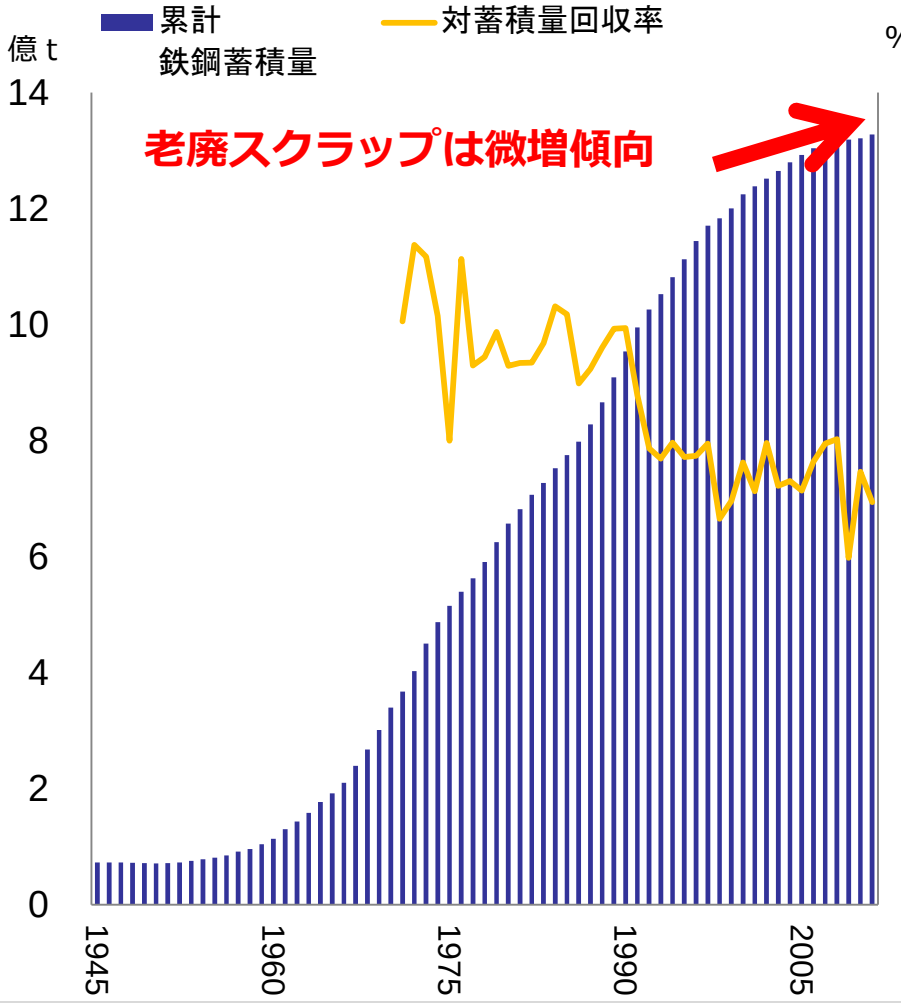
キャッシュ・フローの概要（連結）

	2013年6月期（上期）	2014年6月期（上期）	主な要因
	金額（百万円）	金額（百万円）	
営業キャッシュ・フロー	100	▲28	税金等調整前四半期純利益+450、減価償却費+357、たな卸資産の増減額▲552、法人税等の支払額▲216
投資キャッシュ・フロー	▲130	▲36	定期預金の払い戻しによる収入＋60、国庫補助金の受取額81、有形固定資産の取得による支出▲162
フリーキャッシュ・フロー	▲30	▲64	
財務キャッシュ・フロー	▲287	820	短期借入金＋140、長期借入金の返済による支出▲396、株式発行による収入＋1,195
現金及び現金同等物の増減額	▲303	757	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042	1,970	

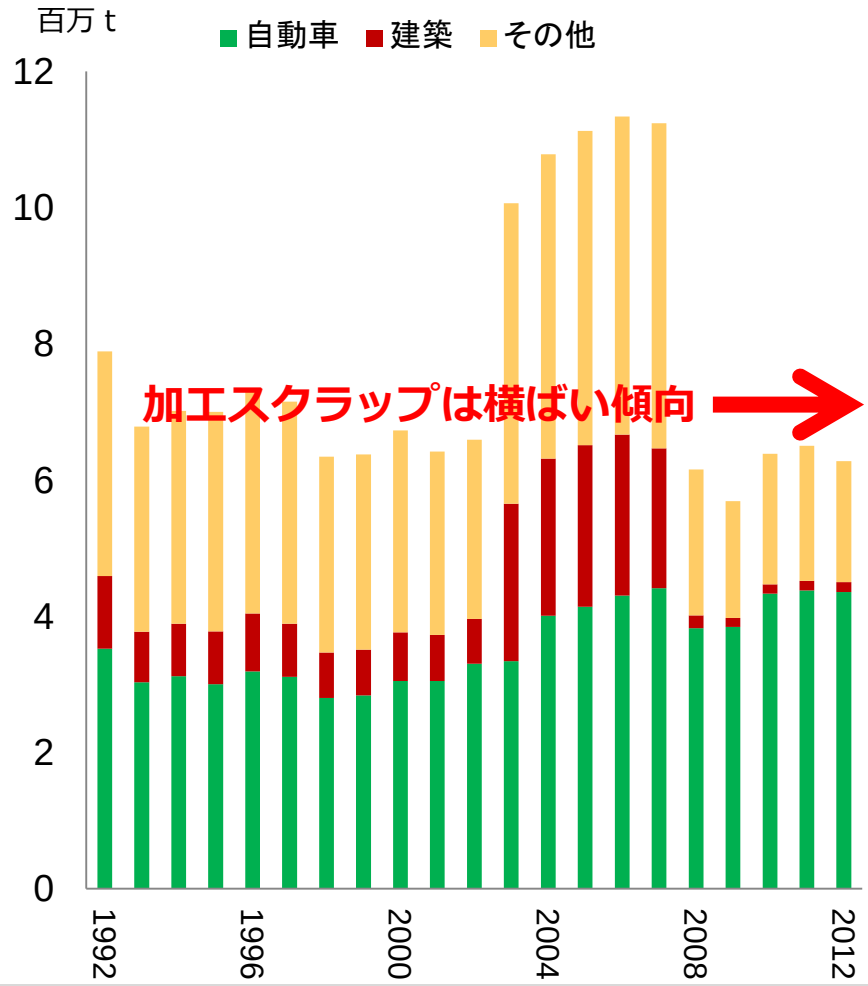
3.14/6期通期見通し

参考データ：製鋼原料のマーケット

鉄鋼蓄積から出る老廃スクラップは今後も微増傾向が見込まれる。加工スクラップは、製造業の生産動向の影響を大きく受け、今後の発生量増加は期待できない。



（出所）一般社団法人日本鉄源協会



（出所）一般社団法人日本鉄源協会

足元の事業環境と取り組み

事業環境

- 日本経済の回復傾向が持続
- 東京オリンピック需要の取り込み
- 消費税法改正による駆け込み需要
  （平成26年4月　8%、平成27年10月予定　10%）

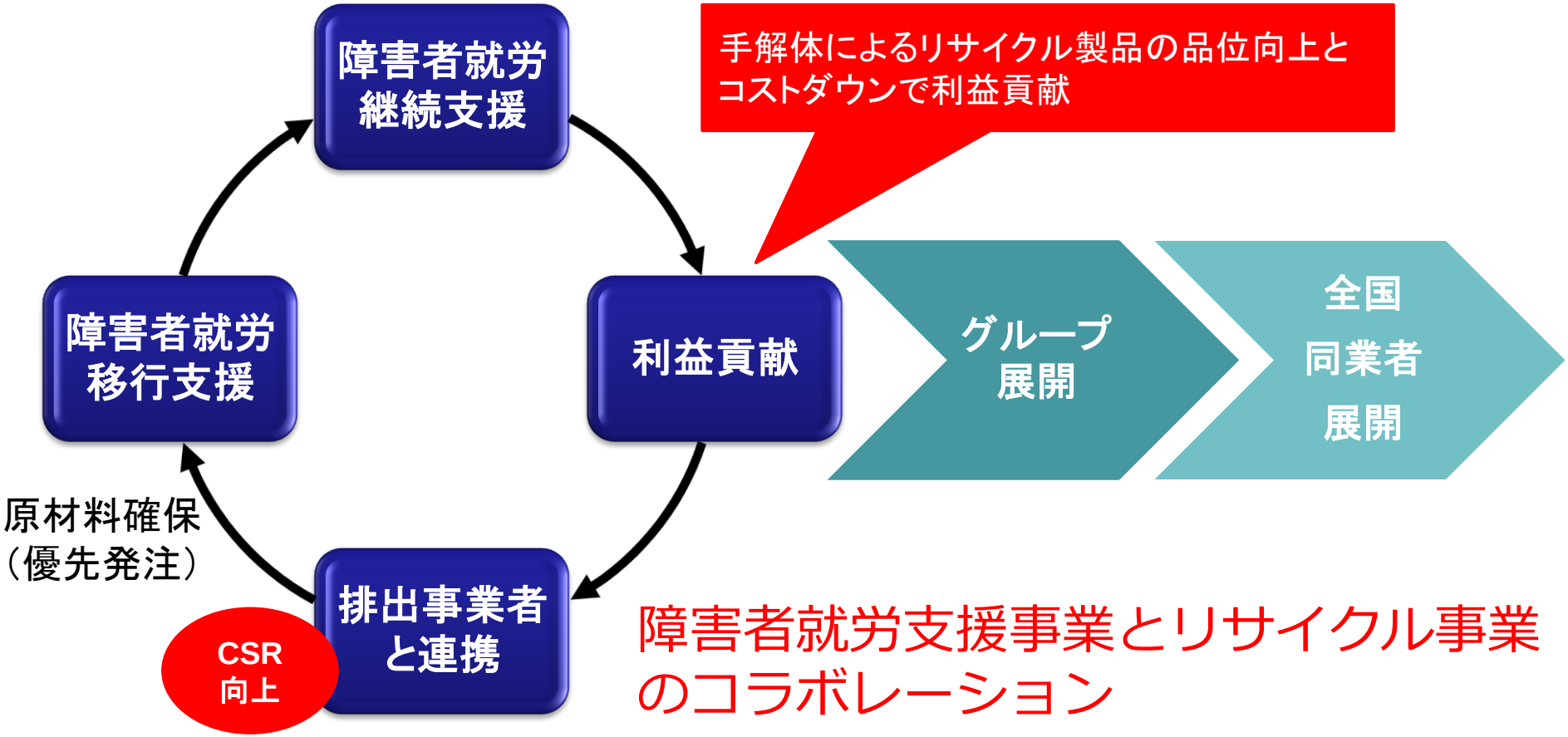
下期の取り組み

- 燃料化事業の強化
- 三国間貿易の強化
- 東京営業所を活用した広域仕入営業強化
- 横浜コンテナヤード開業
- 障害福祉サービス事業の立ち上げ
- ウガンダ自動車整備事業立ち上げ
- 再生可能エネルギー事業の立ち上げ

障害福祉事業の立ち上げ

2013年12月　株式会社エコミット設立（長野県松本市）

事業内容：障害福祉サービス事業



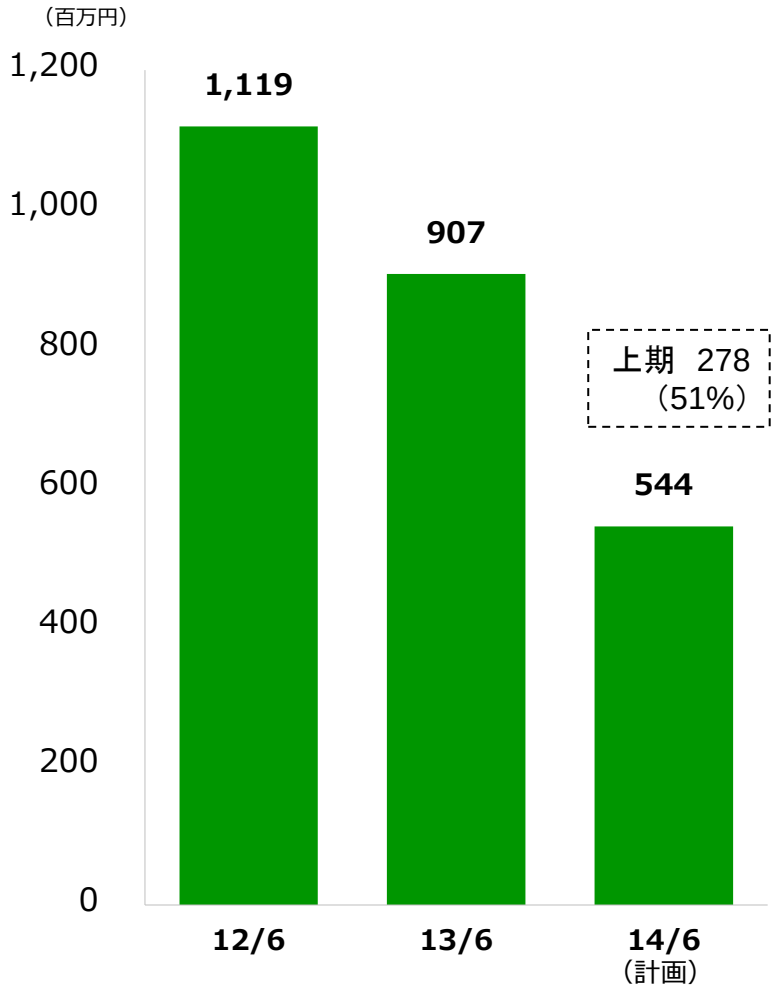
障害者就労支援事業とリサイクル事業のコラボレーション

2014年6月期業績見通し（連結）

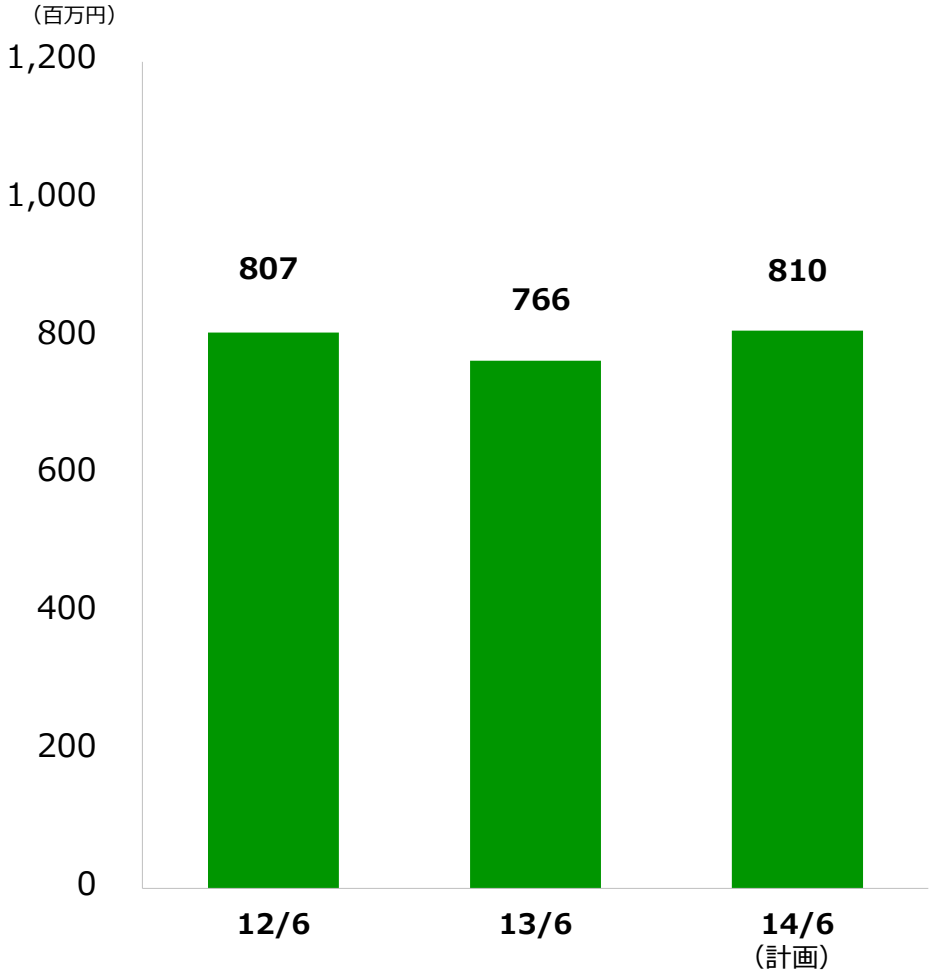
	2013年6月期			2014年6月期				
	上期（実績）	下期（実績）	通期（百万円）	上期（実績）	下期（計画）	通期（百万円）	増減額（百万円）	増減率（%）
売上高	15,385	22,583	37,969	17,071	22,659	39,730	1,761	5%
売上総利益	2,490	3,578	6,068	2,855	3,290	6,145	76	1%
営業利益	140	687	827	326	471	797	▲29	▲4%
経常利益	73	819	892	418	474	892	0	0%
税金等調整前当期純利益	348	809	1,157	450	441	892	▲264	▲23%
当期純利益	263	600	863	271	323	594	▲269	▲31%
限界利益	1,960	2,730	4,691	2,450	2,601	5,051	360	8%
ＲＯＥ（%）	―	―	17.5	―	―	9.5	―	▲45%
１株当たり当期純利益（円）	57	130	187	48	50	98	▲89	▲47%
１株当たり配当金（円）（株式分割補正後）	0	300 (10)	300 (10)	0	10	10	▲290 (0)	▲97% (0%)

設備投資・減価償却費

設備投資

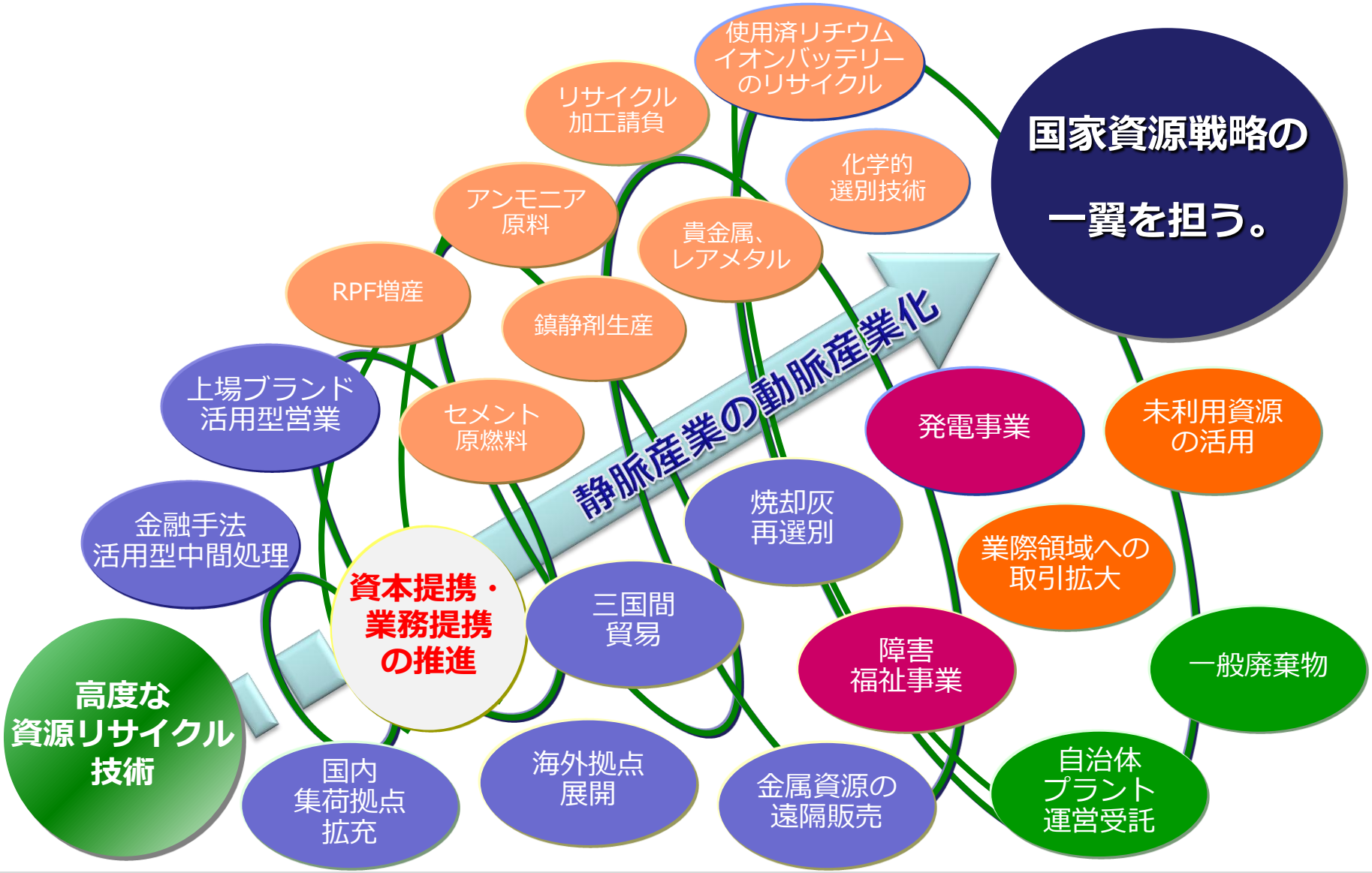


減価償却費



4.成長戦略

中長期の成長戦略


使用済リチウムイオンバッテリーのリサイクル
リサイクル加工請負
化学的選別技術
国家資源戦略の一翼を担う。
アンモニア原料
貴金属、レアメタル
RPF増産
鎮静剤生産
上場ブランド活用型営業
セメント原燃料
静脈産業の動脈産業化
発電事業
未利用資源の活用
金融手法活用型中間処理
焼却灰再選別
業際領域への取引拡大
資本提携・業務提携の推進
三国間貿易
障害福祉事業
一般廃棄物
高度な資源リサイクル技術
国内集荷拠点拡充
海外拠点展開
金属資源の遠隔販売
自治体プラント運営受託

資源リサイクル業界の現況

- リサイクル業界全般に合従連衡が進んでいない
- 過当競争下において、中小同業者に優勝劣敗が生じている
- 鉄鋼メーカー、鉄鋼商社は、大手の統合が進んでいる
- 廃棄物をとりまく法整備状況、環境保全規制が厳格化してきている
- 大手排出事業者のリサイクルニーズにワンストップで応えられる会社は一部

M&A未開地

エンビプロ・ホールディングス
統合を促す魅力ある事業モデルの構築

資本提携のターゲット

- **鉄スクラップ業界**
- **非鉄金属スクラップ業界**
- **特殊金属スクラップ業界**
- **プラスチックリサイクル業界**

業務提携のターゲット

- **鉄スクラップ業界**
- **その他業界**
  金融業界、オークション、リユース、
  中古自動車、建物解体、設備・メンテナンス
- **隣接リサイクル業界**

ご清聴ありがとうございました。

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングス（以下、弊社）の 現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の 事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス　経営企画部

TEL　（0544）58-0521

URL　http://www.envipro.jp